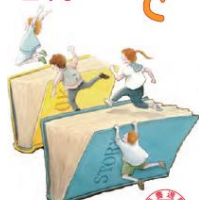


図書館員おすすめの本  
読書週間 2020

2020年10月27日～11月9日  
第74回読書週間  
ラストページまで  
駆け抜けて



ノンフィクション

わがデジタル創世記

世の中が急速にデジタル化した  
この三〇年の物語

福島勝彦／著  
文芸社

インターネットができ、30年ほど月日が過ぎました。この間のデジタルの進化を自身の体験で振り返ります。

蒲田図書館

コロナのせいに見よう。

シャムズの話

國松淳和／著  
金原出版

新型コロナによるストレスで、精神的に不安定になってしまった方へ。今を生きるためのヒントを紹介します。

蒲田駅前図書館

新田三兄弟と南朝

義顕・義興・義宗の戦い

久保田順一／著  
戎光祥出版

かつて南北朝時代に足利氏と激闘した新田義貞たち。大田区とも縁の深い新田一族の戦いを読んでみませんか。

多摩川図書館

フランス女子の  
東京銭湯めぐり

ステファニー・コロイン／著  
G.B.

東京で一番銭湯が多い街、大田区から4軒の銭湯が紹介されています。寒い冬にぜひ、おすすめです。

六郷図書館

名画で学ぶ経済の世界史

国境を越えた勇氣と再生の物語

田中靖浩／著  
マガジンハウス

テーマは不況、貧困、金融？公認会計士による話し言葉の美術ガイド。あの名画をもう一度見たくなる本です。

入新井図書館

静かな奇譚

りん  
長谷川湊二郎画文集

長谷川湊二郎／著 土方明司／監修  
求龍堂

作品《猫》に秘められた作者と愛猫タローとの深い愛の物語を知ってから鑑賞すると胸打たれます。

大森東図書館

渋沢栄一

日本のインフラを創った  
民間経済の巨人

木村昌人／著  
筑摩書房

渋沢栄一(1840～1931)を30年にわたり研究した著者の集大成。「文化交渉」の観点から、渋沢の生涯に迫ります。

大田図書館

天才の考え方

藤井聡太とは何者か？

加藤一二三／著 渡辺明／著  
中央公論新社

直感の加藤一二三九段とAI世代の渡辺明名人が、天才棋士の考え方や藤井聡太二冠は何者かを考察します。

浜竹図書館

フィクション

紙の動物園

ケン・リュウ／著 古沢嘉通／編・訳  
早川書房

ヒューゴー賞受賞作品。アジアの香りが心地よいゆったりしたSFファンタジーの短編集です。

大森南図書館

ひと

小野寺史宜／著  
祥伝社

日々の頑張りに心を寄せてくれる人の温かさが伝わってきました。人に頼っても良いと教えてくれる作品です。

久が原図書館

しろうとむらいどう はぎょう  
書楼弔堂 破曉

京極夏彦／著  
集英社

様々な悩みを持つ人が訪れる奇妙な書店、書楼弔堂。店主は「その人のための一冊」を渡し悩みを解決します。

洗足池図書館

マカン・マラン

二十三時の夜食カフェ

古内一絵／著  
中央公論新社

ドラッグクイーンのシャルルさんが体に優しい料理と、心に寄り添うような言葉で癒してくれるお話です。

羽田図書館

チーム

堂場瞬一／著  
実業之日本社

「俺たちはチームだから」一箱根駅伝。敗者の寄せ集め、選抜メンバーは何のために襷を繋ぐのでしょうか。

大森西図書館

三島由紀夫レター教室

三島由紀夫／著  
新潮社

手紙の文面だけで構成された風変わりな小説です。他の三島作品とは一線を画す、軽妙な文体が笑いを誘います。

馬込図書館

東京ポロロッカ

原宏一／著  
光文社

菟谷・田園調布・下丸子の住民が「多摩川が大逆流する」という噂に翻弄される多摩川沿いが舞台の本です。

下丸子図書館

我が家のヒミツ

奥田英朗／著  
集英社

家族の絆が深まるような短編集です。読了後は清々しく、しかしどこかほっとするような気持ちになります。

池上図書館